



家庭科 模擬試験 集（全3回）

家族・家庭と私の成長

- 各回 100点満点・目安40分。印刷してそのまま解けます。
- 第1回＝基礎 / 第2回＝標準＋応用 / 第3回＝応用＋記述。
- 解答は各問の解答欄に記入し、最後の「解答・解説」で採点しましょう。



模擬試験 第1回

中学校 家庭科「家族・家庭と私の成長」 / 100点満点 / 目安40分

受験者名：_____ 組・番号：_____ 得点：_____/100点

※ 解答は各問の解答欄・解答用線に記入。終わったら巻末の「解答・解説」で答え合わせをしよう。

1. 人間の発達段階を、生まれてから順に正しく並べたものはどれですか。

[4点]

- (1) 乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人
- (2) 幼児 → 乳児 → 小学生 → 中学生 → 成人 → 高校生
- (3) 乳児 → 小学生 → 幼児 → 中学生 → 高校生 → 成人
- (4) 幼児 → 乳児 → 中学生 → 小学生 → 高校生 → 成人

解答欄：

2. 「自立」とは、何でも自分一人のできることを意味する。

[4点]

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

3. ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを () という。

[4点]

解答：

4. 自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、何に興味があるかなどを自分で知ることを何という [4点]
うか答えなさい。

解答：

5. 中学生の時期について、教材の説明として正しいものはどれですか。

[3点]

- (1) 子どもから青年期へ移行する時期である
- (2) 幼児期から乳児期へもどる時期である
- (3) もう成長が完全に終わる時期である
- (4) 成人を過ぎて高齢になる時期である

解答欄：

6. 人は一人ひとり、生まれもった (①) も、育つ (②) も違う中で成長する。①②に入る [4点]
語を答えなさい。

解答：

7. 成長の道筋には個人差があり、ゆっくり成長する人もいる。

[3点]

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○



8. 家庭の機能（はたらき）に当てはまらないものはどれですか。

[3点]

- (1) 利益を上げて株主に配当すること
- (2) 食べる・着る・住まうこと
- (3) 子育てや介護をして育てること
- (4) 地域・社会とのかかわりをもつこと

解答欄：

9. 「食べる」にかかわる家庭の仕事を、教材の例から2つ書きなさい。

[4点]

10. 家庭で行ってきた仕事を、製造業・サービス産業・公的福祉などの家庭の外が担うようになることを、家事の（ ① ）・（ ② ）という。

[4点]

解答：

11. 調理済み食品や惣菜、冷凍食品などを買って家で食べることを指す言葉を、漢字2字で答えなさい。

[3点]

解答：

12. 家事の外部化・社会化やAI化の例として、最も適切なものはどれですか。

[3点]

- (1) ロボット掃除機の利用
- (2) 家族全員で手作りの料理をすること
- (3) 子どもが自分で部屋を片づけること
- (4) 家族で旅行の計画を立てること

解答欄：

13. 中学生の生活にかかる費用として、教材で示されている例はどれですか。

[3点]

- (1) 学費・被服費・食費・教養娯楽費
- (2) 法人税・固定資産税
- (3) 退職金・年金保険料
- (4) 住宅ローン・自動車保険料

解答欄：

14. 子育てを支える社会の仕組みで、子どもを育てる家庭に支給される手当を（ ）という。

[3点]

解答：

15. 保育・幼児教育の無償化は、2019年10月から始まった。

[3点]

解答欄：（ ○ ・ × ） ← どちらかに○



16. 夫婦と子どもや、ひとり親と子どもなど、祖父母を含まない家族の形を指す言葉を答えなさい。 [3点]

解答：

17. 祖父母・親・子の三つの世代がいっしょに暮らす家族を何といいますか。 [3点]

- (1) 三世帯家族
- (2) 単独世帯
- (3) DINKS
- (4) 二世帯家族

解答欄：

18. 中学生になると親と異なる考えで反発することがあるが、それは自立のための大事な時期である。 [3点]

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

19. 本来は大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行っている子どもを（ ）という。 [4点]

解答：

20. 事情があって親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度を何というか答えなさい。 [3点]

解答：

21. 子どもの相談窓口である「児童相談所」の全国共通ダイヤルの番号はどれですか。 [3点]

- (1) 189
- (2) 119
- (3) 110
- (4) 117

解答欄：

22. 18歳までの子どものための電話・チャット相談で、名前を言わなくてよい相談窓口はどれですか。 [3点]

- (1) チャイルドライン
- (2) ハローワーク
- (3) 福祉事務所
- (4) 保育所

解答欄：

23. 「男は外で働く、女は内で働く」といった考え方を（ ）という。 [3点]

解答：



24. 生物学的な性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）を表す言葉を [4点]
答えなさい。

解答：

25. 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を、英語に由来する言葉で（ ）という。 [3点]

解答：

26. 近年、未婚の女性が理想とする割合が増えている、仕事と家庭の両方を続けるライフコースはどれですか。 [3点]

- (1) 両立コース
- (2) 専業主婦コース
- (3) DINKS
- (4) 再就職コース

解答欄：

27. 病気・失業・高齢などの困りごとを、社会全体で支え合う仕組みを何といいますか。 [3点]

- (1) 社会保障制度
- (2) 性別役割分業
- (3) 家事の外部化
- (4) 自己理解

解答欄：

28. Aさんが仕事を失って収入がなくなり、新しい仕事を探したいと考えています。Aさんが利用できる社会保険と、職探しや給付の窓口の名前をそれぞれ答えなさい。 [4点]

29. 健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、生活費・住居費・教育費・医療費などを支えるものを何というか答えなさい。 [3点]

解答：

30. 社会保障の制度は、こちらから申請（手続き）しなくても自動的に使えるものが多い。 [3点]

解答欄：（ ○ ・ × ） ← どちらかに○



模擬試験 第2回

中学校 家庭科「家族・家庭と私の成長」 / 100点満点 / 目安40分

受験者名：_____ 組・番号：_____ 得点：_____/100点

※ 解答は各問の解答欄・解答用線に記入。終わったら巻末の「解答・解説」で答え合わせをしよう。

1. 人間の発達段階を年齢の若い順に正しく並べたものはどれか。

[2点]

- (1) 乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人
- (2) 幼児 → 乳児 → 小学生 → 中学生 → 成人 → 高校生
- (3) 乳児 → 小学生 → 幼児 → 中学生 → 高校生 → 成人
- (4) 幼児 → 乳児 → 中学生 → 小学生 → 高校生 → 成人

解答欄：

2. 「自立」の説明として、教材の考え方に最も近いものはどれか。

[2点]

- (1) 何でも一人で、人に頼らずできるようになること
- (2) 必要なときに、ほかの人々に助けを求められること
- (3) 家を出て一人暮らしを始めること
- (4) 経済的に自分で稼げるようになること

解答欄：

3. ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ち（「自分には自分らしいところがある」と思えること）を何というか。

[2点]

解答：

4. 人は一人ひとり（ ① ）も（ ② ）も違う中で育つため、世の中に同じ人は一人もいない。空欄①②に入る語を答えなさい（順不同）。

[3点]

解答：

5. 図表「自己肯定感の国際比較」では、『自分には自分らしいところがあると思うか』に「とてもそう思う」と答えた高校生の割合の概数が、日本約25%、米国約47%、中国約43%、韓国約30%であった。この結果から日本の若者についてどのようなことが読み取れるか、簡潔に書きなさい。

[3点]

6. 成長の道筋には個人差があり、ほかの人よりゆっくり成長する人もいる。

[1点]

解答欄：（ ○ ・ × ） ← どちらかに○



7. 「自己理解（自分のことを自分で理解する）」とは、具体的にどのようなことを知ることか。例 [3点]
を2つ挙げて説明しなさい。

8. 家庭の機能（はたらき）に当てはまらないものはどれか。 [2点]

- (1) 食べる・着る・住まう
- (2) 育てる（子育て・介護）
- (3) 地域・社会とのかかわり
- (4) 利益を上げて株主に配当する

解答欄：

9. 次の家庭の仕事の例を、家庭の機能のどれに当てはまるか分類しなさい。 ア:洗濯 イ:献立を考 [4点]
える ウ:掃除 エ:育児・看護 オ:衣服の補修

10. 家庭で行ってきた仕事を、製造業・サービス産業・公的福祉など家庭の外が担うようになること [3点]
を何というか。

解答：

11. 加工技術の進歩により、調理済み食品・惣菜・冷凍食品などが手ごろな価格で手に入るようにな [3点]
った。このような調理済み食品を家に持ち帰って食べる形態を（ ）という。

解答：

12. 家事の外部化（弁当・惣菜・冷凍食品の利用など）が進むことの「良い点」と「気になる点（失 [4点]
われるもの）」を、それぞれ1つずつ書きなさい。

13. 家庭の仕事を支える「AI化」の例として最も適切なものはどれか。 [2点]

- (1) ロボット掃除機
- (2) 手洗いでの洗濯
- (3) 家族での話し合い
- (4) 近所づきあい

解答欄：



14. 子育てを支える社会の仕組みについて、開始・拡充の時期の組み合わせとして正しいものはどれ [3点]
か。

- (1) 保育・幼児教育の無償化＝2019年10月～／児童手当の拡充＝2024年10月～
- (2) 保育・幼児教育の無償化＝2024年10月～／児童手当の拡充＝2019年10月～
- (3) 保育・幼児教育の無償化＝2007年～／児童手当の拡充＝2021年～
- (4) 両方とも2019年10月から同時に始まった

解答欄：

15. 図表「保育・幼児教育への公的支援の国際比較（対GDP比、OECD資料）」では、日本は他の先進国と比べてどのような傾向にあるか。簡潔に書きなさい。 [3点]

16. 祖父母・親・子のように、複数の世代が同居していた家族から、夫婦と子どもや夫婦のみなど世代が少ない家族へと近年進んだ変化を何というか。 [3点]

解答：

17. 様々な暮らし方があり、「ふつうの家族」という決まった形が存在する。 [2点]

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

18. 図表「小学生と中学生の休日の過ごし方」では、「友だちと過ごす」割合が小学生約49%、中学生約59%であった。この変化から、中学生の家族・友人関係についてどのようなことが読み取れるか、自立の観点を含めて書きなさい。 [5点]

19. 人間関係には、家族・親などの「(①)」の関係と、友だちなどの「(②)」の関係がある。①②に入る語を答えなさい。 [4点]

解答：

20. 本来大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行っている子どものことを何というか。 [3点]

解答：



21. 「里親」の説明として正しいものはどれか。

[3点]

- (1) 事情により親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度
- (2) 子どもを保育所で日中だけ預かる職員
- (3) 学校で勉強を教える教員
- (4) 高齢者を介護する施設の職員

解答欄：

22. 子どもの相談窓口について、児童相談所の全国共通ダイヤルは「(①) (いちはやく)」である。また、18歳までの子どものための電話・チャット相談で、名前を言わなくてよいのは「(②)」である。①②に入る語句を答えなさい。

[4点]

解答：

23. 家族だけでは解決できない困りごとがあるとき、中学生はどうすればよいか。教材の考え方をふまえて書きなさい。

[4点]

24. 「男は外で働く、女は内で働く」のように、性別によって役割を固定的に分ける考え方を何というか。

[3点]

解答：

25. 「ジェンダー」の説明として最も適切なものはどれか。

[3点]

- (1) 生まれつきの生物学的な性別そのもの
- (2) 社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）
- (3) 戸籍に登録された性別
- (4) 身長や体重などの身体的特徴

解答欄：

26. 約30年前まで男女別だった家庭科が、男女ともに学ぶようになった背景の一つに、ある条約の批准がある。この条約を（ ）という。

[3点]

解答：

27. 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を表す語をカタカナで答えなさい。

[3点]

解答：

28. 図表「未婚女性・男性（18～34歳）の理想のライフコースの変化（1987年→2021年）」で [4点]
は、近年「両立コース」を理想とする割合が増加している。「両立コース」とはどのような生き方が説明しなさい。

29. 社会保障制度のうち、病気・けが・失業・高齢などに備えてあらかじめ加入しておく仕組みを（ [5点]
① ）という。そのうち、失業したときに職探しや給付を受けられる保険を（ ② ）といい、職探しの窓口を（ ③ ）という。①～③に入る語句を答えなさい。

解答：

30. 「生活保護」について正しい説明はどれか。 [3点]

- （1）健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、窓口は福祉事務所である
- （2）高齢になったら全員に自動的に支給される年金である
- （3）失業したときにハローワークで受け取る給付である
- （4）病院で医療費の一部を負担すれば受診できる保険である

解答欄：

31. 社会保障の制度は、自分で申請（手続き）しないと使えないことが多い。このような仕組みの考え方を何というか。 [3点]

解答：

32. Aさんが次の困りごとを抱えたとき、それぞれの社会保障の仕組みを使えばよいか答えなさい [5点]
い。 ①仕事を失って収入がなくなった ②病気で入院し医療費がかかる ③高齢で働けなくなった



模擬試験 第3回

中学校 家庭科「家族・家庭と私の成長」 / 100点満点 / 目安40分

受験者名：_____ 組・番号：_____ 得点：_____/100点

※ 解答は各問の解答欄・解答用線に記入。終わったら巻末の「解答・解説」で答え合わせをしよう。

1. 「自立」について、家庭科の教科書の考え方として最も適切なものを1つ選びなさい。

[4点]

- (1) 何でも一人で完璧にできるようになること
- (2) 必要なときに、ほかの人々に助けを求められること
- (3) 家族と関わらず一人で生活すること
- (4) 親の言うことに反発しないこと

解答欄：

2. 次のうち「家事の外部化・社会化」の例として最も適切でないものを1つ選びなさい。

[4点]

- (1) 惣菜や冷凍食品（中食）を買って利用する
- (2) ロボット掃除機を使って掃除する
- (3) クリーニング店に衣服の洗濯を頼む
- (4) 家族で献立を話し合って自宅で調理する

解答欄：

3. 児童相談所の全国共通ダイヤルの番号として正しいものを1つ選びなさい。

[4点]

- (1) 110
- (2) 119
- (3) 189
- (4) 177

解答欄：

4. 「両立コース」「DINKS」「専業主婦コース」「再就職コース」は何を分類したものか、最も適切なものを1つ選びなさい。

[4点]

- (1) 家族構成の種類
- (2) 社会保障制度の種類
- (3) 理想とする生き方（ライフコース）の種類
- (4) 家庭の機能の種類

解答欄：



5. 失業して仕事を探すときに利用する公的な窓口と、関連する社会保険の組み合わせとして正しい [4点]
ものを1つ選びなさい。

- (1) 福祉事務所 — 生活保護
- (2) ハローワーク — 雇用保険
- (3) 児童相談所 — 児童手当
- (4) 病院 — 年金

解答欄：

6. 核家族化とは、三世帯家族（祖父母・親・子）が増えていくことをいう。正しければ○、誤りな
ら×で答えなさい。

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

7. ジェンダーとは、生まれもった生物学的な性別そのものを指す言葉である。正しければ○、誤り
なら×で答えなさい。

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

8. 社会保障の制度の多くは、自分で申請（手続き）しなくても自動的に支援を受けられる仕組みに
なっている。正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

9. 約30年前まで、中学校では技術・家庭が男女別で、高校の家庭科は女子だけが学ぶ教科だった。
正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

解答欄：(○ ・ ×) ← どちらかに○

10. 加工技術の進歩により、調理済み食品・惣菜・冷凍食品など、手ごろな価格で手に入る食品を
() という。

解答：

11. ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを () という。日本の若者
はこれが国際的に見て低い傾向がある。

解答：

12. 医療費が高額になったとき、自己負担の上限を超えた分が払い戻される、医療保険の制度を
() 制度という。

解答：

13. 事情により親と暮らせない子どもを、自分の家庭に迎えて育てる人・制度を () という。 [2点]

解答：

14. 本来大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行
っている子どものことを何というか、用語を答えなさい。

解答：



15. 「男は外で働く、女は内で働く」のように、性別によって役割を固定的に分ける考え方を何とい
うか、用語を答えなさい。 [3点]

解答：

16. 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を表す言葉をカタカナで答えなさい。 [3点]

解答：

17. 病気・失業・高齢などのとき、社会保険によって生活を支える仕組み全体を指す言葉を答えな
さい（生活保護なども含む社会全体の仕組み）。 [3点]

解答：

18. 家庭の機能（はたらき）には5つの面がある。そのうち3つを書きなさい。 [4点]

19. 中学生が親と異なる考えをもって反発することがあるが、教科書ではこれをどのような時期だと
説明しているか、簡潔に書きなさい。 [4点]

20. 家事の外部化・社会化が進むと便利になる一方で、失われるおそれのあるものを2つ書きな
さい。 [4点]

21. 子育てを支える社会の仕組みのうち、2019年10月から始まった制度と、2024年10月から拡
充された制度を、それぞれ1つずつ書きなさい。 [4点]

22. 家族・親などとの「タテ」の関係に対して、友だちなどとの関係を何の関係というか答え、中学
生になると休日の過ごし方でどのような変化が見られるか簡潔に書きなさい。 [4点]

23. Aさんは仕事中に大きなけがをして入院し、医療費が高額になった。その後、職場を辞めること [5点]
になり収入もなくなった。【問】(1)入院の医療費負担を軽くするために利用できる社会保険と、その
中の制度名を答えなさい。(2)仕事を探すために利用する窓口を答えなさい。

24. 図表「自分には自分らしいところがあると思うか（高校生・とてもそう思う）」の概数は、日本 [5点]
約25％／米国 約47％／中国 約43％／韓国 約30％であった。【問】(1)この図表から読み取れる、
日本の若者の特徴を1文で書きなさい。(2)その特徴が表す気持ち・概念を表す家庭科の用語を答えな
さい。

25. 図表「夫婦と子どもの世帯における夫・妻の生活時間」では、家事関連時間に男女差があり、妻 [6点]
の方が長い傾向が示されている。【問】(1)このような男女差を生んできた、性別で役割を固定する考
え方を何というか答えなさい。(2)この差を小さくするために、これからの家庭でどうすればよいか、
あなたの考えを1～2文で書きなさい。

26. 友人のBさんは、若年性認知症になった母親の介護やきょうだいの世話を毎日していて、宿題や [6点]
部活の時間がとれず疲れている。【問】(1)Bさんのように家族の世話を日常的に担う子どもを何とい
うか答えなさい。(2)あなたがBさんにかかる言葉として、本人の気持ちに寄り添うにはどうするのが
よいか、教科書で紹介された経験者の声をふまえて書きなさい。(3)Bさんが相談できる窓口を1つ挙
げなさい。

27. 第1章で学ぶ「自分らしさ」に関連して、人は一人ひとり違う中で育つ。その違いを生む要因を2 [3点]
つ、家庭科の用語で答えなさい。



28. この単元全体（第1章～第3章）をふまえ、「人は家族や社会と支え合いながら成長していく」こ **[6点]**
とについて、次の3つの語を必ず使って自分の考えを3～4文で書きなさい。【使う語：自立・家事の外部化（または家庭の機能）・社会保障】



解答・解説

採点して、まちがえた問題は学習ノート(学習PDF/Web)で復習しよう。

解答・解説 — 模擬試験 第1回（100点満点）

1. 解答：乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 （4点）

発達段階は「乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人」の順に進む。人間は生まれてから死ぬまで、家族や地域など多くの人々とかわりながら成長・発達していく。

2. 解答：×（誤り） （4点）

自立とは「何でも自分でできること」ではなく、必要なときにほかの人々に助けを求められることをいう。

3. 解答：自己肯定感 （4点）

自己肯定感は「自分には自分らしいところがある」と思える気持ち。日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向がある。

4. 解答：自己理解 （4点）

自己理解とは、自分のことを自分で理解すること。自分の特徴や興味を知ること、自分らしく生きることにつながる。

5. 解答：子どもから青年期へ移行する時期である （3点）

中学生は子どもから青年期へ移行する時期。自分の頭で考えられるようになり、物事に疑問を感じるようになるのは大人へ成長していく証である。

6. 解答：①遺伝 ②環境 （4点）

世の中に同じ人は一人もいない。遺伝も環境も一人ひとり違う中で育つため、自分らしさを大事にすることが大切。

7. 解答：○（正しい） （3点）

成長の道筋には個人差があり、ゆっくりな人もいる。自分らしさを大事にして、世界に一人しかいない自分を見失わないように生きることが大切。

8. 解答：利益を上げて株主に配当すること （3点）

家庭の機能は①食べる②着る③住まう④育てる（子育て・介護）⑤地域・社会とのかかわり。家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある。利益を上げて配当するのは家庭の機能ではない。

9. 解答：食事の調理、買い物（ほかに「献立を考える」「後片付け」も可） （4点）

「食べる」にかかわる家庭の仕事の例は、食事の調理・買い物・献立を考える・後片付けなど。これらは家族の生活を支える大切な仕事である。

10. 解答：①外部化 ②社会化 （4点）

家事の外部化・社会化が進むことで便利になる一方、手作りの良さや家族の時間など失われるものもある。

11. 解答：中食（なかしょく） （3点）

中食は加工技術の進歩で手ごろな価格で手に入るようになり、調理の時短につながる。家事の外部化・社会化の一例。

12. 解答：ロボット掃除機の利用 （3点）

ロボット掃除機はAI化の例。ほかに保育・介護などの公的福祉、外食店、クリーニング業などのサービス産業も外部化・社会化の例である。

13. 解答：学費・被服費・食費・教養娯楽費 （3点）

中学生の生活には学費・被服費・食費・教養娯楽費などさまざまな費用がかかる。費用の構成は円グラフで示される。

14. 解答：児童手当 （3点）

児童手当は2024年10月から拡充され、高校生年代まで支給されるようになった。子育てを支える社会の仕組みの一つ。

15. 解答：○（正しい） （3点）

保育・幼児教育の無償化は2019年10月から始まった。ほかに医療費の無償化・助成（自治体による）、出産育児一時金などもある。

16. 解答：核家族（3点）

近年は祖父母・親・子が同居する三世帯家族などから核家族化が進んだ。「ふつうの家族」は決まっておらず、家族のあり方は多様である。

17. 解答：三世帯家族（3点）

祖父母・親・子の三世代が暮らすのが三世帯家族。家族構成には二世帯家族、夫婦と子ども、ひとり親と子ども、夫婦のみ、単独世帯などさまざまな形がある。

18. 解答：○（正しい）（3点）

中学生は「自分のことは自分で考えたい」と思うようになる。親と異なる考えで反発することもあるが、それは自立のための大事な時期である。

19. 解答：ヤングケアラー（4点）

ヤングケアラーは本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども。家族だけで解決できないときは相談窓口にご相談してよい。

20. 解答：里親（3点）

里親は事情により親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる制度。里親とは別に、法律上の親子関係を結ぶ「養子縁組」という制度もある。家族関係は弟妹の誕生・親の死・結婚・離婚・災害などで変化する。

21. 解答：189（3点）

児童相談所の全国共通ダイヤルは189（いちはやく）。各自治体に設置されている。家族だけで解決できない問題は相談窓口にご相談してよい。

22. 解答：チャイルドライン（3点）

チャイルドラインは18歳までの子どものための電話・チャット相談（0120-99-7777）で、名前を言わなくてよい。

23. 解答：性別役割分業（3点）

性別役割分業は「男は外で働く、女は内で働く」という考え方。約30年前まで家庭科は女子だけが学ぶ教科だったが、今は男女がともに学ぶ。

24. 解答：ジェンダー（4点）

ジェンダーは社会的・文化的につくられた性別のこと。固定的にとらえられてきたが、男女がともに学び支え合う考え方が広がっている。

25. 解答：ウェルビーイング（well-being）（3点）

ウェルビーイングは心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態。これからの家庭生活や社会で大切にされる考え方である。

26. 解答：両立コース（3点）

理想のライフコースには両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コースなどがある。近年は仕事と家庭を両立する両立コースを理想とする割合が増えている。

27. 解答：社会保障制度（3点）

社会保障制度は、病気・失業・障がい・けが・高齢・収入減などの困りごとを社会の仕組みで支える。社会保険や生活保護などがある。

28. 解答：社会保険＝雇用保険／窓口＝ハローワーク（4点）

失業に対しては雇用保険があり、ハローワークで職探しや給付を受けられる。社会保険には病気・けがの医療保険、高齢の年金などもある。

29. 解答：生活保護（3点）

生活保護は健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度。窓口は福祉事務所。困ったときは公共の窓口にご相談する。

30. 解答：×（誤り）（3点）

社会保障の制度は申請（手続き）しないと使えないことが多い（申請主義）。困ったときは福祉事務所などの公共の窓口にご相談することが大切。

解答・解説 — 模擬試験 第2回（100点満点）

1. 解答：乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 （2点）

人間は乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人の順に成長・発達していく。各段階で家族や地域など多くの人々とかかわりながら育つ。

2. 解答：必要なときに、ほかの人々に助けを求められること （2点）

自立とは「何でも自分でできること」ではなく、必要なときに周りの人々に助けを求められること。中学生は子どもから青年期へ移行し、自立に向かう大事な時期である。

3. 解答：自己肯定感 （2点）

自己肯定感とは、ありのままの自分を肯定的に受け止める気持ち。日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向があるとされる。

4. 解答：①遺伝 ②環境 （3点）

遺伝も環境も一人ひとり異なる。自分が周りのどこに似てどこが違うかを知り、自分らしさを大事にして生きることが大切。

5. 解答：日本は他国（米国・中国・韓国）に比べて「とてもそう思う」と答える割合が低く、国際的に見て自己肯定感が低い傾向がある。 （3点）

4か国の中で日本の割合が最も低い。この調査結果は、日本の若者が国際的に見て自己肯定感が低い傾向にあることを示している（数値は教科書掲載の概数）。

6. 解答：○（正しい） （1点）

成長の道筋には個人差があり、ゆっくりな人もいる。物事に疑問を感じられるようになるのは大人へ成長していく証である。

7. 解答：自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、何に興味があるかなどを知ること（例：長所と短所／好きなことと苦手なこと など）。 （3点）

自己理解とは、自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、興味のあることなどを自分で知ること。これが自分らしく生きることにつながる。

8. 解答：利益を上げて株主に配当する （2点）

家庭の機能は①食べる②着る③住まう④育てる（子育て・介護）⑤地域・社会とのかかわり。家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある。利益や配当は企業の機能で家庭の機能ではない。

9. 解答：ア＝着る、イ＝食べる、ウ＝住まう、エ＝育てる（育児・介護）、オ＝着る （4点）

着る＝洗濯・衣服の管理や補修、食べる＝献立・調理・買い物、住まう＝掃除・住まいの手入れ、育てる＝育児・看護・介護。家庭の仕事は機能ごとに整理できる。

10. 解答：家事の外部化（社会化） （3点）

家事の外部化・社会化のこと。中食やクリーニング業、保育・介護などの公的福祉、外食店などが家庭の仕事を担うようになっている。

11. 解答：中食（なかしょく） （3点）

中食は調理済み食品・惣菜・冷凍食品などを指す。家事の外部化の例であり、調理の時短につながる一方、手作りの良さなど失われるものもある。

12. 解答：良い点：調理の時間が短縮できる・手軽で便利。気になる点：手作りの良さや家族で過ごす時間などが失われることがある。 （4点）

便利になる一方で、手作りの良さや家族の時間などが失われる面もある。両面を考えて利用することが大切。

13. 解答：ロボット掃除機 （2点）

ロボット掃除機はAI化（技術による家事の代替・効率化）の例。家事の外部化・社会化とともにAI化も進んでいる。

**14. 解答：保育・幼児教育の無償化＝2019年10月～／児童手当の拡充＝2024年10月～ （3点）**

保育・幼児教育の無償化は2019年10月から、児童手当の拡充（高校生年代まで支給など）は2024年10月からとされている。

15. 解答：日本は他の先進国より公的支援の割合（対GDP比）が低めの傾向にある。 （3点）

OECD資料による国際比較では、保育・幼児教育への公的支援の対GDP比は日本が他の先進国より低めの傾向を示している。

16. 解答：核家族化 （3点）

三世帯家族などから核家族（夫婦と子ども、夫婦のみ、ひとり親と子どもなど）へ進む変化を核家族化という。

17. 解答：×（誤り） （2点）

家族には二世帯・三世帯・夫婦と子ども・ひとり親と子ども・夫婦のみ・単独世帯など様々な形があり、「ふつうの家族」は決まっていない。

18. 解答：中学生は小学生より「友だちと過ごす」割合が高く、家族と過ごす割合が下がる。親から離れて自分のことは自分で考えたいと思うようになる自立の時期にあたることが読み取れる。 （5点）

中学生は友だち（ヨコの関係）と過ごす割合が小学生より増える。これは親に頼ってきたのが自分で考えたいと思うようになる自立の時期と関係しており、反発も自立のための大事な時期といえる。

19. 解答：①タテ ②ヨコ （4点）

家族・親など世代の異なる「タテ」の関係と、友だちなど同世代の「ヨコ」の関係がある。いろいろなつながり方の中で人は成長する。

20. 解答：ヤングケアラー （3点）

ヤングケアラーは、大人が担うような家事や家族のケアを日常的に行う子ども。経験者からは「すごいね」より「つらいよね」と受け止めてほしかったという声がある。

21. 解答：事情により親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度 （3点）

里親は、事情により親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる人・制度。里親とは別に、法律上の親子関係を結ぶ「養子縁組」という制度もある。

22. 解答：①189 ②チャイルドライン （4点）

児童相談所の全国共通ダイヤルは189（いちはやく）。チャイルドラインは18歳までの子どもの電話・チャット相談（0120-99-7777）で、名前を言わなくてよい。

23. 解答：友だちや地域の相談窓口、行政の窓口（児童相談所・チャイルドラインなど）に相談してよい。一人や家族だけで抱え込まなくてよい。 （4点）

家族だけで解決できない問題は、友だち・地域の相談窓口・行政の窓口で相談してよい。大切な他者に頼ることも自立の一つである。

24. 解答：性別役割分業 （3点）

性別役割分業は、性別によって役割を固定的に分ける考え方。家事関連時間の男女差などにも表れる。

25. 解答：社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」） （3点）

ジェンダーは、生物学的な性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）。固定的にとらえられてきた歴史がある。

26. 解答：女性差別撤廃条約 （3点）

女性差別撤廃条約の批准などを受け、かつて女子だけが学んだ家庭科を今は男女がともに学ぶようになった。

27. 解答：ウェルビーイング（well-being） （3点）

ウェルビーイングは、心身ともに健康で満たされ幸せに暮らす状態。性別役割にとらわれず、互いに支え合う生活がウェルビーイングにつながる。



28. 解答：結婚・出産後も仕事を辞めずに、仕事と家庭（家事・育児など）を両立させていく生き方。（4点）

両立コースは仕事と家庭を両立させる生き方。ほかに専業主婦コース・再就職コース・DINKSなどがあり、近年は両立コースを理想とする割合が増えている。

29. 解答：①社会保険 ②雇用保険 ③ハローワーク（5点）

社会保険には医療保険（病気・けが）・雇用保険（失業）・年金（高齢）などがある。失業時はハローワークで職探しや給付を受けられる。

30. 解答：健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、窓口は福祉事務所である（3点）

生活保護は、健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、生活費・住居費・教育費・医療費などを対象とし、窓口は福祉事務所である。

31. 解答：申請主義（3点）

社会保障の多くは申請主義で、手続きをしないと使えないことが多い。困ったときは福祉事務所などの公共の窓口に相談することが大切。

32. 解答：①雇用保険（ハローワーク）／生活が成り立たなければ生活保護 ②医療保険（高額療養費制度など）
③年金（5点）

失業は雇用保険、病気・けがは医療保険（高額な場合は高額療養費制度）、高齢は年金で支える。生活が成り立たないときは生活保護（福祉事務所）に相談する。

解答・解説 — 模擬試験 第3回（100点満点）

1. 解答：必要なときに、ほかの人々に助けを求められること（4点）

自立は「何でも自分でできること」ではなく、必要なときに他者へ助けを求められることを指す（第1章）。一人で抱え込まないことが自立の本質。

2. 解答：家族で献立を話し合って自宅で調理する（4点）

家事の外部化・社会化は、家庭で行ってきた仕事を家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うこと。自宅での調理は家庭内で完結するため外部化の例ではない（第2章）。

3. 解答：189（4点）

児童相談所の全国共通ダイヤルは189（いちはやく）。子どもに関する相談・通告の窓口（第3章）。

4. 解答：理想とする生き方（ライフコース）の種類（4点）

これらは女性・男性が理想とするライフコース（生き方）の分類。近年は仕事と家庭を両立する両立コースを理想とする割合が増えている（第3章 3-4）。

5. 解答：ハローワーク — 雇用保険（4点）

失業時はハローワークで職探し・給付を受け、関連する社会保険は雇用保険。福祉事務所は生活保護の窓口（第3章 3-5）。

6. 解答：×（3点）

逆である。近年は三世帯家族から核家族（夫婦のみ、夫婦と子、ひとり親と子など）へと進む核家族化が起きた（第3章 3-1）。

7. 解答：×（2点）

ジェンダーは生物学的性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）を指す（第3章 3-4）。

8. 解答：×（2点）

社会保障の多くは申請（手続き）しないと使えない（申請主義）。困ったときは福祉事務所などの窓口相談することが大切（第3章 3-5）。

9. 解答：○（2点）

女性差別撤廃条約の批准などを受けて男女がともに学ぶようになった。それ以前は家庭科は女子中心の教科だった（第3章 3-4）。

10. 解答：中食（なかしょく）（2点）

中食は外食と内食（家庭での手作り）の中間。調理の時短につながる一方、手作りの良さが失われる面もある（第2章 2-2）。

11. 解答：自己肯定感（2点）

自己肯定感は「自分には自分らしいところがある」と思える気持ち。日本の若者は他国より低い傾向がある（第1章 1-2）。

12. 解答：高額療養費（2点）

高額療養費制度は医療保険の仕組みの一つ。重い病気・けがで医療費が高額になっても負担を抑えられる（第3章 3-5）。

13. 解答：里親（2点）

里親は親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる制度。養子縁組も家族のあり方の一つ（第3章 3-3）。

14. 解答：ヤングケアラー（3点）

ヤングケアラーは家庭内のケアを担い、学習や友人関係に影響が出ることがある。周囲の理解と相談窓口・支援が重要（第3章 3-2・3-3）。

15. 解答：性別役割分業（3点）

性別役割分業は社会的・文化的につくられた役割（ジェンダー）に基づく固定観念。今は男女がともに家庭・社会を支える方向へ変化している（第3章 3-4）。

16. 解答：ウェルビーイング（3点）

ウェルビーイング（well-being）は家庭生活や働き方を考えるうえで重視される考え方（第3章 3-4）。

17. 解答：社会保障（社会保障制度）（3点）

社会保障は社会保険（医療保険・雇用保険・年金など）や生活保護からなり、自分や家庭の力だけで生活が成り立たないときに支える（第3章 3-5）。

18. 解答：①食べる ②着る ③住まう ④育てる（子育て・介護） ⑤地域・社会とのかかわり のうち3つ（4点）

家庭は食・衣・住・育（子育てや介護）・地域社会とのかかわりを担い、心の安らぎや健康を支える場でもある（第2章 2-1）。

19. 解答：自分のことは自分で考えたいと思うようになる、自立のための大事な時期。（4点）

反発は単なるわがままではなく、子どもから青年期へ移行し自立していく成長の過程として大切な時期とされる（第1章・第3章 3-2）。

20. 解答：手作りの良さ、家族で過ごす時間（など）（4点）

中食やサービスの利用で時短になる反面、手作りの良さや家族の時間など、家庭ならではの価値が失われる面もある（第2章 2-2）。

21. 解答：2019年10月～：保育・幼児教育の無償化／2024年10月～：児童手当（高校生年代まで支給などの拡充）（4点）

保育・幼児教育の無償化は2019年10月開始、児童手当は2024年10月から高校生年代まで支給するなど拡充された（第2章 2-3）。

22. 解答：ヨコの関係。中学生は小学生より「友だちと過ごす」割合が高くなる傾向。（4点）

タテ（家族）とヨコ（友だち）の両方のつながりがある。図表では中学生は友だちと過ごす割合が小学生より高い傾向（概数で約59%）（第3章 3-2）。

23. 解答：(1)医療保険／高額療養費制度 (2)ハローワーク（5点）

病気・けがは医療保険（高額療養費制度で負担を抑える）、失業はハローワークで職探し・雇用保険の給付を受ける。困ったときは制度と窓口を正しく結びつけることが大切（第3章 3-5）。

24. 解答：(1)日本は他国より「とてもそう思う」と答える割合が低い。(2)自己肯定感（5点）

日本は4か国の中で最も低く、自己肯定感が国際的に見て低い傾向を示す。数値は教科書掲載の概数として扱う（第1章 1-3）。

25. 解答：(1)性別役割分業 (2)（例）性別にとらわれず、夫婦・家族が家事や育児を分担し合う。互いの仕事や状況を話し合って協力する。など（6点）

家事関連時間の男女差の背景には性別役割分業の考え方がある。ジェンダーにとらわれず分担し、互いに協力する姿勢が、ウェルビーイングの高い家庭につながる（第3章 3-4）。

26. 解答：(1)ヤングケアラー (2)「すごいね」とほめるより、「つらいよね」と気持ちを受け止める。(3)児童相談所（189）／チャイルドライン など（6点）

経験者の高岡さんは「すごいね」より「つらいよね」と受け止めてほしかったと語る。一人で抱え込まず、児童相談所（189）やチャイルドライン（0120-99-7777）などに相談してよい（第3章 3-2・3-3）。

27. 解答：遺伝、環境（3点）

遺伝も環境も一人ひとり違う。だからこそ自分らしさを大事にし、世界に一人しかいない自分を見失わないことが大切（第1章 1-3）。

28. 解答：(例) 人は乳児から成人まで家族や地域の人々と関わって成長し、家庭の機能や家事は外部化・社会化によって社会にも支えられている。自立とは一人で全部やるのではなく、必要なときに人や社会の仕組みに助けを求められること。困ったときは社会保障などの制度や窓口を使い、支え合って生きることが大切だ。(3語を使い筋が通っていれば可) (6点)

3章の横断問題。発達と関わり (1章)、家庭の機能・家事の外部化 (2章)、家族の多様性・社会保障による支え合い (3章) を結びつけ、自立＝適切に助けを求めること、という単元の核を表現できていれば高評価 (第1～3章 総合)。